

平成30年度(2018年度)

管理事業名	千里山駅周辺整備事業				総合計画の体系	第6章 安全で魅力的なまちづくり 第2節 暮らしや都市活動を支える基盤づくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 10 千里山駅周辺整備事業費
部局名	土木部	予算執行所属	地域整備推進室			
予算大事業名	千里山駅周辺整備事業					
	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 【目的】 踏切の安全性、駅前都市機能の不足、都市計画道路の未整備、千里山団地の老朽化という地域課題を解消する。 【概要】 ・駅前踏切を車両通行禁止とし、振替道路である千里山跨線橋線を整備。 ・駅東側においては、自転車駐車場、コミュニティ施設、駅前交通広場、都市計画道路等の整備を都市再生機構団地建替えと総合的、一体的に行う。 ・駅西側においては、駅へのアクセス道路の歩道整備などを行う。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
全体事業費に対する執行事業費の割合	%	94	96	100	(執行事業費累計/総事業費)
道路整備完了延長	%	72	81	100	(道路整備完了延長/道路整備予定総延長)
成果の説明	・千里山駅周辺整備事業では、駅西側を中心とした都市再生計画に基づき、平成30年度は駅西側の道路改良工事等が完成し、予定していた工事は全て完了しました。 ・今後は、当初の目標どおり、公共施設の整備が完了したため、当該事業の成果等を客観的に判断し、住民へ分かりやすく説明することを目的とした、事後評価を実施します。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	31,444	49,544	-	△49,544
経常収入 小計(a)	31,444	49,544	-	△49,544
給与関係費	23,726	18,206	15,393	△2,813
物件費	41,795	1,024	28,039	27,016
維持補修費	-	4,514	-	△4,514
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	16,830	13,098	12,262	△836
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,854	1,253	1,306	53
退職手当引当金繰入額	△5,053	△4,192	△570	3,622
支払利息	10,195	9,722	9,015	△707
その他	-	11,354	-	△11,354
経常費用 小計(b)	89,346	54,979	65,445	10,466
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△57,901	△5,435	△65,445	△60,010
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	3,810	58,392	5,900	△52,492
特別収入 小計(d)	3,810	58,392	5,900	△52,492
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	44,363	-	△44,363
特別支出 小計(e)	-	44,363	-	△44,363
特別収支差額(d)-(e)=(f)	3,810	14,029	5,900	△8,129
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△54,091	8,594	△59,545	△68,139
一般財源充当額	175,455	127,117	200,771	73,653
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	121,364	135,711	141,225	5,514

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	千二消防分団車庫・詰所解体撤去工事 8,942千円ほか

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	31,444	-	-	-
行政サービス活動支出	96,946	49,933	67,357	17,423
行政サービス活動収支差額	△65,501	△49,933	△67,357	△17,423
投資活動収入	3,810	6,800	5,900	△900
投資活動支出	228,210	9,936	40,290	30,354
投資活動収支差額	△224,400	△3,136	△34,390	△31,254
財務活動収入	160,500	2,000	15,900	13,900
財務活動支出	46,055	76,048	114,923	38,875
財務活動収支差額	114,445	△74,048	△99,023	△24,975
収支差額 合計	△175,455	△127,117	△200,771	△73,653
一般財源充当額	175,455	127,117	200,771	73,653
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	金額
(投資活動収入)	
社会資本整備総合交付金	5,900千円
(財務活動収入)	
地方債	15,900千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成28年度	369,522 人	242 円	平成31年3月31日現在の吹田市人口で算出し、市民1人あたり176円のコストがかかっています。
	平成29年度	370,072 人	149 円	
	平成30年度	371,030 人	176 円	
事業面積当たりのコスト	平成28年度	130,000 m ²	687 円	事業面積1m ² あたり503円のコストがかかっています。
	平成29年度	130,000 m ²	423 円	
	平成30年度	130,000 m ²	503 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	116,176	117,362	1,186
未収金	-	-	-	地方債	114,923	116,056	1,133
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,253	1,306	53
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	123,626	113,690	△9,936	その他流動負債	-	-	-
土地	113,690	113,690	-	固定負債	1,293,456	1,191,336	△102,121
建物・工作物	-	-	-	地方債	1,278,197	1,178,041	△100,156
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	9,936	-	△9,936	退職手当引当金	15,259	13,294	△1,965
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	1,409,633	1,308,698	△100,935
建物・工作物	-	-	-	純資産	△1,286,007	△1,195,008	90,999
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-	純資産の部合計	△1,286,007	△1,195,008	90,999
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	123,626	113,690	△9,936
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	123,626	113,690	△9,936				

III 財務構造分析

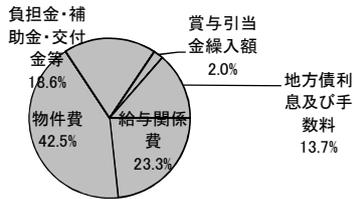
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	2人				16,129
給与関係費等	16,129千円				
内、時間外勤務手当	1,001千円				

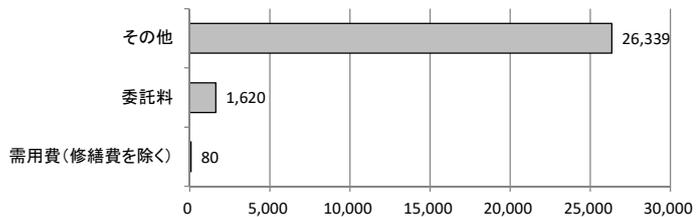
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建設仮勘定	予定していた公共施設の整備完了により、9,936千円の減。

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		47.3	93.5	90.2	△3.3

▽その他特記事項

IV 総括

▽分析結果の説明

千里山駅周辺整備事業は、社会資本整備総合交付金を活用し、事業を進めております。
平成30年度は駅西側の道路改良工事が完成し、予定していた公共施設の整備が完了したため、建設仮勘定が減少しています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

当初の目標どおり、公共施設の整備が完了したため、当該事業の成果等を客観的に判断し、住民へ分かりやすく説明することを目的とした、事後評価を実施していく必要があります。